

# 暮らし見直しCO2削減

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの一つ、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）は多くが日常生活や経済活動によって排出され、排出量削減が急務となっている。松本地域の企業が実践している排出抑制の活動に目を向け、個々に無理なく続けられる取り組みがないか、日常を見直してみたい。



バイオディーゼル燃料の製造装置(寿バイオ)

## 寿バイオ 廃食用油回収、BDFに

塩尻市広丘吉田の寿バイオは、松本地域の飲食店やホテル・旅館などから使用済みの食用油を買い取り、軽油の代替となるバイオディーゼル燃料（BDF）を精製している。先は大幅に増え、約5

今春から、松本市が公衆衛生や支所・出張所などで家庭から集めた廃食用油の回収も受託している。平成20年の設立以降、環境問題への意識の高まりを背景に回収植物が原料であるた

00件から月1万リットルを集める。BDFは、燃焼させればCO<sub>2</sub>を発生させるが、光合成によってCO<sub>2</sub>を吸収してきた植物が原料であるため、大気中のCO<sub>2</sub>の

増減に影響を与えないとみなされ

る。「環境にやさしい燃料」と言われるゆえんだ。

精製したBDFは現在、関連会社の運送業・寿昇運の車両燃料として活用している。利用拡大を目指し今後は、BDFを5%混合した軽油「B5」の製造販売に乗り出す計画だ。「BDFに対する市民の理解を醸成し、燃料の地産地消システムを構築したい」としている。

